



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2019

No.34 (2019年12月19日発行)

第15回東日本高校生フランス語 スケッチ暗唱大会 審査員特別賞受賞 !!

11月16日(土)に、第15回東日本高校生フランス語スケッチ暗唱コンクール(アンスティチュフランセ日本<フランス認可語学学校>・日本フランス語教育学会・フランス大使館-共催)が、アンスティチュフランセ東京(神楽坂)を会場に開催されました。佐野高校から、2-1関谷愛可さん、2-3千葉莉香子さん、1-1後藤秋浜君、1-1戸室琴乃さん、の4名が出場しました。東日本(関東・中部・東北・北海道)各地から参加した高校生50名がハイレベルな演技を繰り広げた中、1年生の後藤秋浜君・戸室琴乃さんチームが見事審査員特別賞(5位~7位入賞)を受賞しました。栃木県からの同大会での入賞は13年ぶりの快挙でした。

☆第15回東日本高校生フランス語スケッチ暗唱コンクール表彰式の様子です



☆フランス大使館ロバン参事官と



☆表彰状を手に記念写真です



☆アンスティチュフランセ校長先生と



☆東日本高校生フランス語スケッチ暗唱コンクールとは

年2回行なわれる高校生フランス語暗唱コンクールの内、北海道・東北・中部・関東地方の高校生を対象に、毎年秋にアンスティチュ・フランセ東京<フランス認可語学学校>を会場に開催されている、準全国規模のフランス語大会です。秋季大会は、5つの課題テキストの中から1つを選び、スケッチ(寸劇)を演じて演技の完成度を競います。演技は、暗唱力10点・イントネーション・リズム10点・発音10点・表現力10点・演劇性10点の合計50点満点で評価されます。

☆他校の参加者との交流会での様子です



☆SGH クラブフランス語班の生徒たちのコメントです!!

(2-1 関谷愛可)

フランス語の勉強を始めて間もない私でしたが、楽しくコンクールに参加することができました。フランス語を本格的に勉強している他校の方々のスケッチはとても完成度が高く、いい刺激をもらいました。私はフランス語の知識はまだまだ少ないですが、このコンクールを通して、より興味を持つことができました。コンクールでの経験を今後に生かせるよう、更に勉強に励みたいと思います。

(2-3 千葉莉香子)

昨年に引き続き、私は2回目の参加となりました。発表会では日々の練習成果を、十分に出し切ることができませんでした。発表後の交流会では、他の出場校の生徒さんたちと交流することができ、ここではフランス語をいつ学んでいるかなどを話しました。授業内でフランス語を学んでいる学校が多く、とても驚きました。今回のコンクールでもたくさんの刺激を受けとても良い経験になりました。これを生かし、今後の活動にも力を入れていきたいです。

(1-1 後藤秋浜)

私は今回のスケッチコンクールを通して、語学学習において大変自信を得ることができた。フランス語は、特に「r」の発音が難しく最後まで悩まされたが、片柳先生やアナ先生の指導の下、コンクール本番では自信を持って発表することができた。そして表現の部分は何度も練習し、自然な会話になるように努力した。コンクールでは審査員特別賞を獲得したものの、文法・語法についてはまだ学習途上なので、更なるフランス語能力の向上に励みたい。

(1-1 戸室琴乃)

今回初めてコンクールに参加しました。スケッチとは日本語で寸劇やコントを意味します。ペアで本番直前まで練習を重ねました。本番ではとても緊張しましたが、練習の成果を発揮することができて良かったです。また参加校の人たちと交流できたことは、とても良い経験となりました。片柳先生とアナ先生の熱いご指導により入賞することができて、とても嬉しかったです。ありがとうございました。